

災害対策に関する APT 会合に出席して (Workshop on Disaster Management/Communications)

田 村 正 人
(第一技術部長)

災害対策と情報通信に関するワークショップが、日本政府（総務省）主催、APT 運営により 2011 年 10 月 19 日から 21 日まで 3 日間、東京西新宿の京王プラザホテルにおいて開催され、APT アフィリエイト会員である JTEC を代表して出席しました。

本ワークショップはアジア太平洋地域諸国の災害危機管理部門や緊急通信・警報システム関係者が一堂に結集し、東日本大震災をはじめ最近の災害における経験と教訓を共有し、あるべき姿と現状とのギャップを把握するとともに今後求められる対応について議論するもので、参加者は 20 カ国地域、12 社から計約 80 名を数えました。

3 日間の日程は、「災害対策に関する国家政策」、「アジア太平洋地域における過去の災害からの教訓」、「災害警報通信システムの最新動向」、「災害時における ICT とソーシャルネットワークの役割」、「災害からの復興と安全な暮らしのためのビジョン」、「ネットワークと事業の継続性」及び視察（リスクコントロール展）など実践的な内容で、最終セッションでは災害管理に関し今後も継続的な情報共有を図るためのワーキンググループを新設することが提案、承認され閉幕しました。

時期に 3.11 東日本大震災後ということもあり、未だ復旧復興が進行形である同震災に学ぶべきものが多く、本ワークショップを通して参加者は自然災害の脅威に対する平時からの備えの重要性と情報通信が果たすべき役割の大きさを改めて認識しました。

また会期中、ブレイクタイムなどを活用し多くの参加者と有意義な情報交換や今後のビジネス関係構築が図れたことも大きな収穫となりました。



Photo: Workshop on Disaster Management/Communications, October 19-21, 2011, Tokyo